

協働でつくる輝きと風格のあるまち

広報 11月1日発行

ながはま

<http://www.city.nagahama-shiga.jp/>

2013

11

平成25年
No.094

須賀神社千二百五十式年祭

50年のときを越えて受け継がれるかくれ里「菅浦」のお祭り

- 2 **特集**
廃校にいのちを吹き込む
- 8 表彰に輝く人たち
- 14 ながはま見聞録
- 15 私のとおき長浜
- 25 情報ひろば
- 28 **ときめ輝びと**
宮腰 悦子さん



廃校に

いのちを吹き込む

主のいなくなった学校：
地域の人口減少と共に、児童・生徒数が減少し、
閉校を迎える学校がでてきました

学びの原点である学校は
長い歴史の中で、多くの人たちに愛され
世代を超えて共有できる地域資産として
かけがえのない存在です

そこに暮らす人々が将来を想い
役目を終えた学校に新たな生命を吹き込む
それは、魅力あるまち
住むことに誇りがもてるまちへとつながります



旧余呉小学校の再生に懸ける想い

まちをまるごと美術館に

余呉地域の美しい秋の風景を美術館に見立て、多様な芸術との出合いの場をつくる「余呉まるごと里山芸術村」。

10月26日～11月4日の10日間、余呉ならではの豊かな地域資源を生かし、芸術作品の展示や音楽、舞台などが各所で行われ、「地域がまるごと美術館」となります。

メイン会場は、地域住民の思い出がたくさん詰まった旧余呉小学校。廃校となった同校が大勢のボランティアの力により清掃・整備・改修され、芸術や文化の創造活動を育む学び舎として、ここに蘇りました。

芸術と人歴史、地域を結び、まちを元気にしたい、そんな地域の人たちの挑戦が始まっています。

芸術・文化を基軸としたまちづくり

このイベントを主催する「芸術村IN余呉実行委員会」の代表で、旧余呉小学校の卒業生でもある中山さん。中山さんと実行委員会のメンバー



▲清掃作業の様子



NPO法人芸術村IN余呉
実行委員会 理事長
中山 克己さん (余呉町中之郷)

んがら座「弥吉」といった小劇場・ギャラリーを開設し、コンサートや演奏会、絵画展等を開催してきました。また、余呉を盛り上げようと始まった創作オペラの公演が地域に根差すなど、多くの人が文化芸術に親しみをもち楽しむとともに、その魅力を広く伝

は、「余呉を元気づけるためには何が大切か」「余呉に最も欠けているものは何か」を議論する中で、「生活を楽しむ、楽しみながら生きる、それを叶えてくれるものが芸術文化だ」という結論に至りました。

今年行われたコンサートでは、全編イタリア語の歌詞にもかかわらず、聞いていたお年寄りが拍手喝さい。その光景をみて、中山さんは「文化や芸術は、言葉などではなく、心と心のつながりで伝わるもの」ということを実感しました。それ以来、「芸術・文化は、心の過疎を防ぐための切り札」との想いを強めました。

もともと余呉には、文化芸術活動への取組みを盛んにする雰囲気がありました。地元住民が主体となって「ベ

えてきました。そんな文化的基盤があつてこそ「芸術村」へとつながり、市と連携した「交響の郷づくり事業」へと発展しているのです。

今回のイベントは、再生した旧余呉小学校の「こけら落とし」として開催されます。中山さんは、「旧余呉小学校を起点にして余呉の魅力発信し、地域の活性化につなげていきたい」と、意気込みを語りました。

住むことに誇りをもつ

旧余呉小学校が閉校したのは8年前。その様子を見届けたのは、当時校長だった丹生さんでした。



丹生 善喜さん (余呉町上丹生)

実行委員会に携わる丹生さんは、学校の清掃中に、子どもたちがかつて花を育てていた場所を通り、学校全体で環境美化に取り組んでいたことを思



▲清掃後の校舎の様子
(上)1階廊下、(下)講堂



い出しました。「閉校が決まってからも『最後だからなおさらきれいにしよう』と、子どもたちは校舎内をがんばって掃除してくれた」と話します。

廃校して間もない頃、「学校がすぐに取り壊されるのでは」と心配になったそうですが、学校の象徴であった講堂だけでも残して、そこを地域住民が交流できる場として利用する話を聞いたとき、嬉しく思いました。

余呉は丹生さんにとって教師生活も含め「ずっと生まれ育ってきた地域です。この地域が抱える人口減少や高齢化に対し、どのような対策を打つか想いを巡らします。

丹生さんは、「余呉全域を会場にして『芸術村』を開催されることに意義がある」と話します。多くの人に余呉の魅力を知ってもらい、都市部からやってくる人の受入体制づくりにもつながり、住むことに誇りがもてるまちにしたいと考えています。

余呉の未来を見据え、「進学や就職等で外へ出て行った子どもたちにも、ぜひ故郷の良さを知ってもらいたい」と、胸のうちの語りました。

作品に想いを込めて

今回の芸術村にドライフラワー作品を出展している三國さん。日ごろからオンラインワンをめぐらし、作品に使う植物の魅力をそのまま表現することを大切にしています。

「芸術村」開催にあたっては、学校の清掃活動にも参加しました。展示場所となる教室の片隅にあった掃除用具入れを開けたとき、「大好き余呉小」「あながとう(ありがとう)」「の文字が目飛び込んできます。三國さんは「これを書いた子はこの学校が好きやったんやな。閉校になる前に書いたものかな」と思い、「この子たちの想いを大事にしたい。この用具入れをお花いっぱい飾ってあげよう」と思ったそうです。

三國さんは「ここが余呉に住む人だけでなく芸術を始める人の起点となれば」と話し、今後の利活用に期待を寄せます。



▲三國さんが見つけた掃除用具入れの文字

広がる支援の輪

「ここから」では4泊5日の寄宿生活を通して様々な体験活動を行い、元気を失っている子どもたちが自信と生きる勇気を取り戻せるよう支援を行っています。2階部分は木工や織物、ガラス細工、陶芸などを行える部屋として利用し、どの部屋も道具や材料が常備され、いつでも使える状態にしています。老朽箇所の補修は、子どもたちが安全・衛生的に生活を送れるよう必要な範囲だけにとどめ、当時の造りや卒業生の思い出が詰まったものはできるだけそのままの状態を残しています。

活動開始当初は、物資もそろっておらず地域に認知されていなかったため苦労の連続でしたが、地元住民との交流が増えるにつれ少しずつ地域に受け込んでいきました。校舎の一角に囲炉裏をつくろうと検討している



▲教室を織物(上)や陶芸(下)の部屋として使用



▲「Coco cafe」でランチを楽しむ人たち

こうした地域を愛する人たちの手により、また一つ生命が吹き込まれ、芸術を核としたまちづくりが始まりました。



ドライフラワーコーディネーター 三國 佳未さん(余呉町下丹生)

余呉まるごと里山芸術村2013

- とき 10月26日(土)～11月4日(月・休) 10時～16時
- ところ 余呉地域各所
- チケット販売 パスポート料金 1,000円(1ドリンク付)
※中学生以下は無料。販売窓口は旧余呉小学校・全長寺・茶わん祭りの館・ウッドパル余呉
- 問 NPO法人芸術村IN余呉実行委員会
☎86-8037
HP <http://kohokusui.gen.net>

旧丹生小学校の新たな役割

廃校後、8年以上の月日が流れた旧丹生小学校。現在は、不登校児童・生徒のための寄宿制自立支援施設として活用されています。

施設を運営するのは、NPO法人子ども自立の郷ウォームアップスクール「ここから」の唐子理事長。余呉の豊かな自然に囲まれた木造校舎の温もりの中で、不登校問題に長年取り組む専門カウンセラーや経験豊富な元教員、インターンシップ(就業体験)で参加する大学生、そして、多くのボランティアや地元住民等の協力を得ながら、全力で子どもたちのサポートにあたっています。



「ここから」理事長 唐子 恵子さん(余呉町上丹生)

丹生小学校との出会い

唐子さんは教員として不登校児と関わる中で、悩みや不安から子どもたちをより早く解放し、学校・社会への復帰を促すには、公の機関の枠組みを超えて取り組む必要があると考え、ようになり、いつしか「自分がやりたいこと、信じることをすぐに実行でき

る環境で子どもたちと向き合いたい」と思うようになりました。カウンセラー仲間には、「静かな所で、後ろは山で前には川があつて…」と、よく夢や構想を語っていたそうです。そして丹生小学校との出会いが訪れます。体験学習でウッドパル余呉を訪れたとき、子どもたちと自転車で散策に出ました。突然チャイムが聞こえ、音の方向に向かうと、そこには優しいピンク色の壁に「健やか丹生っ子」の文字が並ぶ古い学校が目飛び込んできました。それが旧丹生小学校です。唐子さんは自分の思い描いていたとおりの理想の環境を目の当たりにし、ますます夢が膨らみます。そして意を決し、開校の準備をすすめる唐子さんの趣旨に賛同した当時の余呉町の厚意もあり、旧丹生小学校を借り受けることに。「ここから」の第一歩がまさにここから始まりました。



▲「ここから」が活動する旧丹生小学校(余呉町上丹生)

と、それを聞きつけた地元の人が手伝いに、また「もう使わないから」と家具を譲るなど、温かい支援が後を絶ちません。冬は寒かろうと薪をそっと置いて帰る人も。唐子さんは、「地元の人や子どもたちと関わりをもった人たちが、温かい支援の手を差し伸べてくれることに感謝している」といいます。

笑顔が集る「Coco cafe」

1階ではコミュニティカフェを運営し、毎週土曜日にモーニングやランチを安価で提供しています。子どもたちが発案し校舎の壁から垂れ下がる緑の旗が開店の目印です。

「Coco cafe」の運営目的は二つあり、一つは子どもたちの就労体験の場とすること、そしてもう一つは、地域の人たちが気軽に集まって交流できる場にしてもらうことです。昨年12月にオープンしたばかりですが、口コ

地域に息づく存在

既に50人近くが「ここから」から学校社会への復帰を果たしました。中には「自分はここに通っていた」と恋人を連れて訪れる卒業生や、「車が好きだ」と言っていた子が自動車整備士となり、スポーツカーに乗って唐子さんに会いに来るなど、「ここから」に在学していたことを隠すことなく、ここで過ごした時間や仲間、思い出を、むしろ誇りに思っているそうです。

また、今は地元を離れ生活している旧丹生小学校の卒業生たちも、帰省した際は、学校を見てから帰る人も。時代の移ろいとともにも用途は変わっても、学校は人々の想いや願いを大きく包み込み、多くの人々にとって心の拠り所となっています。

人と人、人と地域を繋ぎ、旧丹生小学校は今なお輝きと存在感を放ち続けています。



Coco cafe 11月のご案内(ランチのみ)

- 場所 旧丹生小学校
- 日時 11月9日・23日・30日
各土曜日 11時～14時30分
※今月はイベント等の関係で、毎週ではありません。
- ・和食または洋食(500円:飲み物付き)
- ・ドリンクとサブレ・ケーキセット(300円)
- 問 NPO法人子ども自立の郷 ウォームアップスクール「ここから」
余呉町上丹生1570 ☎86-3578
HP <http://cocokara.2008.com/>

11月は 児童虐待防止 推進月間です

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときや、ご自身が出産や子育てに悩んでいるときは、児童相談所や市役所の窓口にご連絡してください。



さしのべた
その手がこどもの
命綱

オレンジリボンには、子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

●児童虐待とは……

児童虐待は家庭内でのしつけとは明らかに異なり、子どもの心身の健やかな成長に重大な影響を与える行為です。

【身体的虐待】	殴る・蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど
【性的虐待】	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性的描写を売り物にしたもの等の被写体にするなど
【ネグレクト】	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、学校へ登校させない、保護者以外の同居人による虐待を放置するなど
【心理的虐待】	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(ドメスティック・バイオレンス)など

乳幼児揺さぶられ症候群について

赤ちゃんを激しく揺さぶらないで!

赤ちゃんが何をやっても泣き止まないと、イライラしてしまうことは誰にでも起こり得ます。しかし、泣き止まないからといって、どうも激しく揺さぶらないでください。赤ちゃんや小さな子どもが激しく揺さぶられると、見た目にはわかりにくいですが、頭(脳や網膜)に損傷を受け、重い障害が残ったり、命を落とすこともあります。

どうしても泣き止まない時は、赤ちゃんを安全な所に寝かせて、その場を少しの間でも離れ、深呼吸をするなどして、まず自分をリラックスさせてみてください。

長浜市・滋賀県の 相談件数等の状況

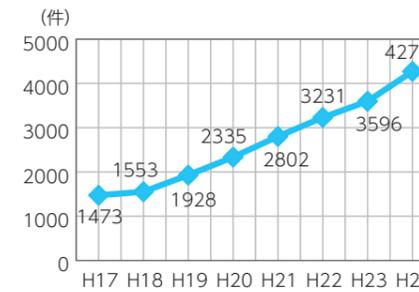
平成17年度から市も相談・通告窓口となりました。その後、相談件数は増加し、昨年度には7倍を超えました。

滋賀県(原内市町の合計)も同様に増加傾向で、虐待に対する地域や社会の関心が高まってきていると見えます。

長浜市における相談・通告件数の推移

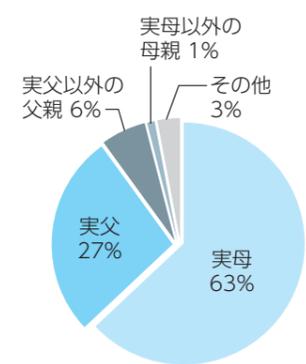


滋賀県における相談・通告件数の推移



虐待相談の6割以上が 実母という現状とその背景

市内の虐待相談で最も多いのが実の母親からです。昔に比べて、男性の育児参加への意識が高まってきたものの、依然として子育ての大半を母親が担っており、毎日の不安や心配が育児ストレスとして蓄積されています。「自分が頑張らなければ」というプレッシャーが、虐待の背景にあると考えられます。



「しつけ」と「虐待」

しつけとは、基本的な生活習慣や社会のルール・マナーの習得、他人のことを思いやる行動などを身に付けるために行う家庭内での教育です。これは子どもの発達や理解度に配慮しながら行うものであり、大人の都合や期待を押し付け、暴力や言葉で従わせて行うものではありません。保護者にとっては「しつけのつもり」でも、子どもにとっては有害であれば「虐待」になります。

ひとりで抱え込まず、「相談してください」

子育ては、子どもの成長とともに、親が親として成長していく過程でもあります。楽しいことや喜びも多いためと同時に、迷うこと、困ってしまうことも起こります。まわりの親はちゃんとできていると感じて、できていない自分を責めてしまうことはありませんか。でも、悩んでいるのはあなただけではありません。誰かに話をすることで肩の荷が下り、安心することもあります。

子育て中の親子に、みなさんの見守りや応援をお願いします。身近で出会う親子に、声掛けや優しいまなざしをお願いします。そんなあなたが行動が、子育て中の親の心の支えになることもあります。もし、虐待を受けたと思われる子どもがいれば、確信がなくても左記の機関に相談してください。(連絡は匿名で行うこともできます。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます)



上手な子どものしつけとは

何度言っても子どもが同じことを繰り返す、つい口調がきつくなって、子どもとの関係が悪くなるといったことがあります。親が子どもとうまくコミュニケーションできる方法を身につけることで、子どもの問題行動を減少させ、親のいらだちが少なくなり、親子関係が改善されます。

ほめ上手・伝え上手になろう

子どもをほめるのは、なかなかできないものです。照れくさかったり、ほめることの効果を感じにくかったり、つい注意が先にでてしまうことがあります。そんな時には、ほめる前に子どもがしている行動を認めてみましょう。『当たり前』に思えることでも、継続できている点を「〇〇してるね」と伝えてみましょう。子どもはほめられることで、個性を認めてもらえたと感じ、自分に好きになります。その喜びが自信につながり、新たな意欲が芽生えます。結果的に子どもの良い面が伸び、悪い面が減っていきます。

「具体的に」わが「へんやこか」

「ちゃんとしなさい」といった「あいまいな表現」ではなく、「わかりやすい表現」を使うことで、メッセージが明確に伝わります。

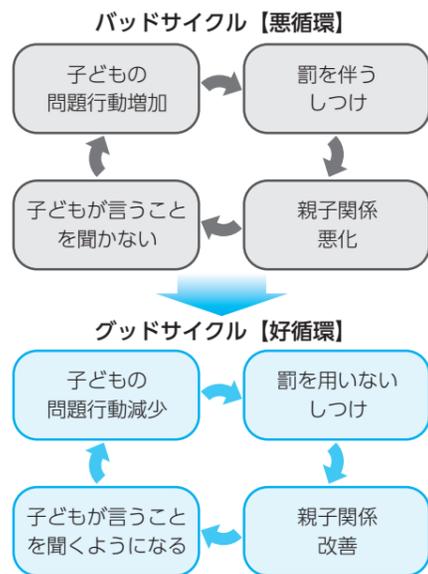
あいまいな表現 「行儀よく食べなさい」…×

わかりやすい表現 「お茶わんを持って食べようね」…○

子どもと視線を合わせて、表情を見ながら伝える、テレビなどを消し、静かな環境にしてから話すなどの工夫も効果的です。

グッドサイクル ニニコ家族

罰を伴うしつけは、子どもにとっては怖い思いが心に残ります。なぜ叱られたのか理解できず、また同じことを繰り返すことにもなります。できていることをほめる、認める、わかりやすく説明することで、良い親子関係が築けます。



長浜市立図書館からのお知らせ

～あなたの子育て応援します!～

児童虐待防止関連図書『オレンジリボンコーナー』開設

市立長浜図書館には、児童虐待に関連する図書約1,600冊をそろえています。家庭教育・発達・育児の一般教養から専門書まで幅広い内容です。子育て中の人はもちろん、子育て中の方を見守る地域のみなさんもぜひご利用ください。

また、全館に木製のおもちゃやパズルを用意しており、お子さんと一緒に楽しめる場所としても利用していただけます(貸出も可)。

毎週赤ちゃんタイム(月曜日図書館、金曜日浅井図書館)、毎月各館で赤ちゃん向けのおはなし会も実施中!気軽に、お出かけください。

表彰に輝く人たち

11月3日「文化の日」に、市政に貢献された次の皆さんが表彰されます。(敬称略)

◆都市計画審議会委員として
都市の発展に寄与

塚口 博司 (大阪府高石市)

◆保護司として明るい
地域社会づくりに寄与

羽瀨 久晃 (元浜町)
春近 寛 (春近町)
徳永 格誠 (乗倉町)
河村 俊明 (酢)
谷口 久夫 (木之本町古橋)

◆自治会長として
自治行政の推進に寄与

樋口 正雄 (神前町)
阿部 史 (三ツ矢町)
大塚 健二 (三ツ矢元町)
眞杉 義和 (元浜町)
冬木 克彦 (朝日町)
小森 義博 (朝日町)
中川 泉 (三和町)
松山 義昭 (小観音寺町)
北角 正 (小観音寺町)

◆消防団員として
自治消防の責務に精励

小野とき子 (平方町)
長門 美江 (内保町)
河野 裕美 (南高田町)
清水 敬子 (四ツ塚町)
渡邊 嘉久 (殿町)
苅安 高裕 (朝日町)
長谷部 忠 (朝日町)
中村 恵二 (元浜町)
八釣 浩 (公園町)
中川 文人 (加田町)
西堀 浩和 (加田町)
中川 文司 (加田町)
押谷 亘康 (泉町)
山口 隆弘 (八幡中山町)

◆民生委員・児童委員として
地域福祉の向上に寄与

関口 壽治 (小野寺町)

◆農業委員として
農業者の地位向上に寄与

福永 利平 (勝町)

◆健康推進員として
市民の健康づくりの
推進に寄与

雨森 市郎 (西浅井町岩熊)
高尾 浩司 (西浅井町大浦)
岩佐 弘明 (西浅井町山田)
田仲 孝至 (西浅井町大浦)

鈴木美代子 (寺田町)
宮川 政子 (下坂浜町)
橘 真智子 (湖北町青名)
小柳 芳恵 (高月町重則)
今井 直美 (木之本町杉野)
田尻きなゑ (木之本町田部)
岡本 悦子 (西浅井町塩津中)
田中佐喜子 (西浅井町八田部)

◆観光ガイドとして
観光振興に寄与

藤田 勳 (高月町唐川)
伊藤源一郎 (木之本町大音)
山田 秋三 (寺田町)
金澤喜之助 (平方町)

◆医師として
保健衛生の向上発展と
市民の健康増進に寄与

奥田 哲也 (平方町)
公文 正仁 (勝町)
出口 英樹 (小堀町)
森上 直樹 (七条町)
橋本 修 (川道町)
東川 昌仁 (弓削町)
荻野 賢二 (木之本町木之本)
横野 文 (寺田町)
富樫 弘一 (木之本町黒田)

◆市美術展覧会委員として
文化芸術振興に寄与

中村 武 (新庄寺町)

◆歯科医師として
保健衛生の向上発展と
市民の健康増進に寄与

野洲 秀樹 (湖北町速水)
澤 秀樹 (加納町)

◆地域農業の発展に
寄与するとともに
観光振興およびPRに寄与

観光ぶどう園として地域の
観光振興およびPRに寄与
今庄ぶどう生産組合 (今庄町)
南浜ぶどう生産組合 (南浜町)

◆スポーツ少年団指導員として
青少年の健康増進・
体力向上に寄与

羽田 直樹 (大津市)
岩佐みどり (西浅井町余)
西堀 明之 (加田町)

中川 尚人 (田村町)
前田 武之 (南田附町)
木下 直久 (石田町)
清水 豊浩 (石田町)
浅見 忠宏 (湖北町山本)
平居 篤也 (湖北町延勝寺)
丸岡 貴宏 (湖北町延勝寺)
八木 徹次 (湖北町延勝寺)
杉本 弘樹 (湖北町今西)
藤田 弘明 (湖北町留目)
三國 和正 (高月町高月)
友田 元之 (高月町雨森)
内貴 健一 (高月町森本)
片山 巖 (高月町片山)
宮部 秀吉 (高月町磯野)
山中 淳 (木之本町杉野)
白髭 滋昭 (木之本町杉本)
林 修司 (木之本町大見)
松浦 孝 (木之本町川倉)
小谷 茂喜 (木之本町木之本)
富永 善幸 (木之本町千田)
横田 修宏 (木之本町千田)
伊香 明夫 (木之本町田居)
岩佐 亨 (余呉町文室)
是洞 尚 (余呉町新堂)
水上 裕二 (余呉町中之郷)
山根 祐一 (余呉町菅並)
藤原 克徳 (西浅井町沓掛)
久保 一志 (西浅井町沓掛)



行政 information
平成25年度まちづくり講演会
人は誰でも主役になれる～居場所と出番づくり～ 問 市民協働推進課 (☎65-8722)



Kenichiro Doriki 代表取締役
 横石 知二氏

【と き】 11月30日(土) 9時～
 【ところ】 木之本スティックホール
 (木之本町木之本)
 ※参加費無料・申込不要

人口約2,000人の山間の町で、料理を飾る“妻物(つまもの)”を主力商品とする(株)いりどり。町を活気づけるために横石氏が着目したのは、「女性が活躍できる場」をつくることでした。

市連合自治会では、まちづくりへの取組支援事業として「まちづくり講演会」を開催します。今年度は、葉っぱビジネスの仕掛け人として全国的にも有名な、横石知二氏を講師にお招きし、地域ビジネスの秘訣についてご講演いただきます。まちづくりに関心のある市民の皆さんのお越しをお待ちしています。

行政 information
地域安全長浜市民大会
～犯罪のないまち長浜をめざして～ 問 市民協働推進課 (☎65-8722)



高岡 達之氏

【と き】 11月16日(土) 13時～15時30分
 【ところ】 湖北文化ホール(湖北町速水)
 【内 容】 ・防犯功労者、防犯功労団体表彰
 ・記念講演

演題：「“大丈夫”こそ、一番危ない！～犯罪者の“心”から読み解く、最新“防犯心得”～」
 講師：高岡 達之氏(読賣テレビ放送 報道局 解説委員)

※参加費無料・申込不要

行政 information
防犯功労表彰を受けられました 問 市民協働推進課 (☎65-8722)

10月5日(土)に開催された「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会において、地域の安全や少年補導にご尽力いただいている皆さんの功績が称えられ、市内からは次の皆さんが受賞されました。

- ◇防犯栄誉銅章(全国防犯協会連合会長表彰) 難波 義樹さん
- ◇「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり大賞(県知事表彰) 県立長浜農業高等学校NAGANOU会
- ◇防犯功労者(県警本部長・県防犯協会長連名表彰) 中島 太右衛門さん 岩寄 八郎さん
- ◇地域安全ニュー入優秀防犯自治会(県警本部長・県防犯協会長連名表彰) 長浜市防犯自治会
- ◇少年補導功労者(県警本部長・県少年補導員会連絡協議会長連名表彰) 松波 末和さん 伊吹 好美さん 中川 正さん 田邊 義男さん 饗場 恵子さん 小野 一美さん 橋本 さとみさん
- ◇少年補導功労団体(県警本部長・県少年補導員会連絡協議会長連名表彰) 長浜警察署少年補導員会湖北ブロック

高島市ガリバーホールでの表彰式の様子

この道ひとすじ

夏原一昭さん(布勢町)
 伝統的な素材を 次世代に伝えたい

日本の住居にじっくりとなじみ、快適さをもたらす天然素材「籐」。永年にわたり、敷物を中心とした藤製品の製造に携わり、住環境に心の安らぎを醸し出すための創意工夫に努めてこられました。

父が戦後に始めた家業を、高校卒業後すぐに継ぎました。それまでも籐に触れてはいましたが、本格的に修行を始めたのはそのころからです。働き始めて10年ほどして台湾を視察で訪れた際、機械化された工場での製造工程を目の当たりにして、「これからは機械化を進めなくては」と感じました。籐はもともと熱帯の植物で、原料を入手しやすいということもあり、機械の導入を機に生産拠点をインドネシアに移しました。その時に現地の職人に伝えた技術は、今でも脈々と受け継がれています。籐は調湿性・脱臭効果に優れ、清涼感をもたらす素晴らしい天然素材です。新品もさわやかで心地良いですが、使い込まれて赤みを帯びた色合いもまた、味わいがあります。昔ながらの伝統的な素材として、近年その価値が再認識されているようです。



仕事を始めて50年余り、ずっと心掛けてきたことは「籐の敷物専門店として、良質の材料と丹精込めた仕事を、長く愛されるものづくりをし、お客さんに喜ばれるものをお届けする」ということ。日本人の生活様式が多様化するなか、個々の注文にもお応えしています。年季の入った製品の修理を依頼される時、大切に使用してくださいというのだと、喜びを感じます。

行政 information
平成26年「新成人を祝うつどい」を開催します 問 生涯学習・文化スポーツ課(☎65-6552)

【と き】 平成26年1月12日(日) 13時～14時30分
 ※受付は12時30分から
 【ところ】 市内3会場で開催します。
 ●長浜会場：長浜ロイヤルホテル(大島町) 長浜・浅井・びわ地域の人
 ●東浅井会場：湖北文化ホール(湖北町速水) 虎姫・湖北地域の人
 ●伊香会場：木之本スティックホール(木之本町木之本) 木之本・高月・余呉・西浅井地域の人
 【対象者】 平成5年4月2日～平成6年4月1日に生まれた、市内在住もしくは長浜市出身の人



- 問合せ先
- 長浜会場 生涯学習・文化スポーツ課(☎65-6552)
 - 東浅井会場 湖北支所地域振興課(☎78-8300)
 - 伊香会場 北部振興局地域振興課(☎82-5900)

行政 information
医療連携システムの実証実験を進めています
 問 健康推進課 ☎65-7779

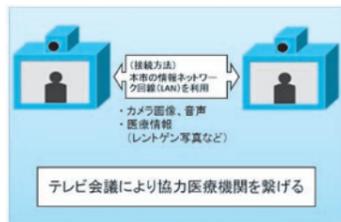
地方の医師不足が叫ばれる中、本市でも地域医療を支える医師に大きな負担がかかっています。その負担を軽減し、市民が安心して診療を受けられる環境を維持するため、市では情報技術を導入した医療連携システムの実証実験を進めています。

◆実証実験の内容

長浜病院、湖北病院等の医療機関をテレビ会議システムでつなぎ、実際に医師や看護師が協議や情報交換を行います。



↑テレビ会議システム。画面には、レントゲン写真と相手側の様子が映し出されています。

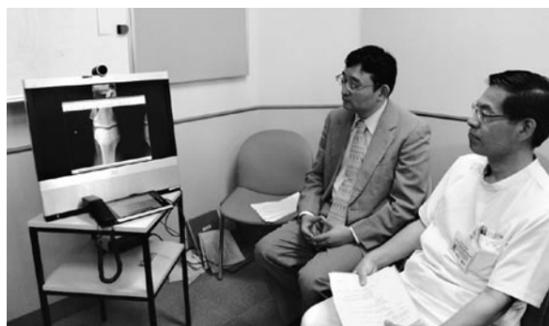


- 具体的には、次の事が可能になります。
- 医療情報(レントゲン写真など)を画面上で共有し、診療方針などについて協議できます。
- 複数の施設間を同時に繋げたテレビ会議が行えます。
- 病院の勉強会や研修会に遠隔参加することができます。

◆実証実験の今後

医師や看護師をはじめとする医療スタッフに実際に機器を使用してもらうことで、「ここが使いにくい」「こうすれば便利」といった課題や改善点を見つけ出し、最適な医療連携の形を検証します。

今後は、このシステムの調査・導入・検証にご協力いただいている京都大学医学部付属病院の黒田知宏教授(医療情報学)を中心に、実証実験を踏まえた検証結果をまとめ、市の医療連携に有用な情報環境の整備をめざします。



医療連携システムの実証実験を行う黒田教授(左)と神田副院長(右)。

協力者の一言

京都大学 黒田知宏 教授

情報通信技術を導入することにより、地域の医療従事者間のコミュニケーションを円滑にし、ひいては市民への医療サービスの充実と安心感に繋がっていくことをめざしています。情報通信技術の利用方法や、技術そのものに対する医療スタッフからの要望を吸い上げ、チーム医療がスムーズになるような環境を整えられるよう進めていきたいと思えます。

長浜病院 神田雄史 副院長

離れたところにいる医師同士が顔を合わせて話せるのが一番の利点です。顔を見ながらの意志疎通により、医師間の連携が円滑になり、地域の医療連携に繋がることを期待しています。まず、病院での症例検討会や勉強会への遠隔参加、講義の遠隔視聴などに利用ができればと思っています。

地域医療福祉フォーラム2013

住み慣れた地域で、必要な医療・介護サービスを受けながら、自分らしく幸せな最期を迎えるために、在宅医療や看取りについて一緒に考えてみませんか。

- 【と き】 11月27日(水) 15時30分～18時(15時受付開始)
- 【と ころ】 長浜文化芸術会館(大島町)
- 【内 容】 ○基調講演「自然死のすすめ」
講師：中村仁一先生(社会福祉法人「同和園」診療局長)
○シンポジウム「チームで支えて、看取りの質を高めよう」
- 【申込み】 11月13日(水)までに電話で下記まで

問 申 長浜米原地域医療支援センター
 (湖北医療サポートセンター「メディサポ」内) ☎65-2755
 ※入場無料、どなたでも参加していただけます。



中村仁一先生

行政 information
国民年金保険料控除証明書を発行します
 問 彦根年金事務所国民年金課 ☎0749-231114

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において、金額が社会保険料控除の対象となります(その年の1月1日～12月31日に納付した保険料)。
 社会保険料控除を受けるためには、支払ったことを証明する書類の添付が必要です。
 今年1月から9月に国民年金保険料を納付した人には、日本年金機構から11月上旬に「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が送付されます。年末調整や確定申告を行う人は大切に保管してください。
 また、10月から12月に今年はじめに国民年金保険料を納付した人には、来年の2月上旬に送付されます。
 控除証明書が届かない場合または紛失した場合は、彦根年金事務所まで再発行の手続きをしてください。

行政 information
年金受給者の皆さん 『扶養親族等申告書』は期限までに提出を!
 問 彦根年金事務所お客様相談室 ☎0749-231116

老齢や退職による年金は所得税法上「雑所得」として所得税が課せられます(障害年金・遺族年金を除く)。
 課税の対象となる人には、11月上旬に日本年金機構から「扶養親族等申告書」が送付されますので必ず期限までに提出してください。
 提出を忘れると各種控除が受けられないまま所得税が課せられる場合がありますのでご注意ください。

なお、年金以外に収入がある人は確定申告が必要で、

※提出期限 12月2日(月)

※平成26年分「扶養親族等申告書」が送付される人

- 65歳未満で年金額が108万円以上
- 65歳以上で年金額が158万円以上

行政 information
平成25年分年末調整説明会を開催します
 問 長浜税務署法人課税第1部門(源泉担当) ☎62-6144

- 〈長浜会場〉
- 【と き】 11月18日(月)
 - 10時～12時
 - 13時30分～15時30分
 - 【と ころ】 長浜文化芸術会館(大島町)
 - ※豊公園駐車場もご利用ください。
 - 〈木之本会場〉
 - 【と き】 11月21日(木) 13時30分～15時30分
 - 【と ころ】 木之本スティックホール(木之本町木之本)
- ※説明会には、事前に送付した書類をお持ちください。
 ※また、会場付近の私有地路上には絶対に駐車しないでください。

行政 information
住生活総合調査にご協力ください
 問 建築住宅課 ☎65-65333

国土交通省において、12月1日を調査日として、全国で住生活総合調査が実施されます。
 この調査は、5年に一度、住宅の住み心地や最近の居住状況の変化などを把握することにより、今後、国や県・市などが推進する住宅施策の基礎資料とするものです。

調査対象者は、10月1日に総務省が実施した住宅・土地統計調査にご協力いただいた世帯から無作為に選り、11月下旬に統計調査員(市職員)が各世帯を訪問します。調査をお願いする人には重ねてお手数をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、記入いただいた調査票は、統計を作る目的のみ使用し、法律により厳重に秘密が守られます。

行政 information
秋の火災予防運動が始まります
 問 湖北地域消防本部予防課 ☎62-5194

『消すまでは 心の警報 ONのまま』
 11月9日(土)から15日(金)まで、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。冬に近づくこの季節は、空気が非常に乾燥します。また、火を使う機会が増えることから、毎年この時期に火災が多く発生しています。
 そこで湖北地域消防本部では、火事を出さないための「火の用心、7つのポイント」を呼びかけています。
 火災から尊い生命・財産を守るため、一人ひとりが火の用心を心がけ、安心して暮らせるまちづくりに取り組みましょう。

火の用心、7つのポイント

- ① 寝たばこは、絶対にやめる。
- ② ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- ④ 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ⑤ 寝具・衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ⑥ 火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器を設置する。
- ⑦ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

私のとっておき 長浜



加納白山公園 (加納町)

宮戸 勝直さん (加納町)



このコーナーは、市民の皆さんのとっておきを紹介する市民情報交流コーナーです。市内の風景、場所、食べ物など、あなたの「とっておき」を紹介してください。市民広報室まで (☎65-6504) ※営利を目的とした利用はできません。

私が子どもだった頃、白山公園にある池は、かんがい用のため池でした。

ため池には地下水が湧きでる場所があり、四方を丸太で囲い、ある程度の水深がありました。また、池の側に大きな杉があり、枝が池の方に張り出し丸太の枠を見下ろせるようになっていたため、そこは子どもにとって恰好の「度胸だめし」の場所でした。幼馴染みたちと枠の中心めがけて何度も飛び込んだことを、懐かしく思い起こします。

現在は市によって整備され、さながら庭園のような風情を漂わせています。これからの時期は、池の周囲のもみじなどが色づき、見ごろを迎えます。春の桜も見応えがあり、散った花びらが水面に浮くさまは美しく、毎年楽しみにしています。



ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室 (☎65-6504) までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews> 「長浜 ほっとにゅーす」 検索



上左 アートインナガハマ



上右 火縄銃大会



右 きもの大園遊会

10月5日(土)・6日(日)、
12日(土)・13日(日)

まちなかの賑わい、華やかに

長浜城再興を記念して始まり、秋の一大イベントとなった「長浜出世まつり」。中心市街地で開催された「アートインナガハマ」では、全国各地から集まったアーティストたちが展示や販売、実演を行い、訪れた人たちは芸術の秋を味わいました。

また火縄銃大会では、友好都市西之表市と国友の鉄砲隊が演武を披露。火をふき、体に響くような筒音を上げる火縄銃に、観客らは大きな拍手を送りました。

同日に開催された「きもの大園遊会」には、市内外からおよそ700人が参加。色とりどりの着物に身を包んだ参加者らは、多くのカメラマンのリクエストに応えるなどし、まちなかを華やかに彩りました。

10月13日(日)

大道芸フェスタ in虎御前

世界で活躍するパフォーマーが虎姫生きがいセンターに集結し、さまざまな芸を披露しました。

ジャグリングで世界一となった経歴を持つ矢部亮さんは、中国ゴマ「ディアボロ」を使った演技などを披露。また、「ロボットのぞみ」さんは、ストーリー性のあるパントマイムで、来場者を感動の渦に巻き込みました。

このほか、地元団体等による飲食ブースなども用意され、訪れた人たちは秋晴れの休日を楽しみました。



10月6日(日)

浅井家のふるさとを満喫

郷土の歴史文化を活かし、地域を盛り上げようと毎年開催されている「小谷城ふるさと祭り」。前夜祭「饗応の宴」では、地元の女性グループ「赤谷の里」の皆さんによる現代風戦国料理が振舞われました。

本日には、さまざまなステージショーや地元自治会などによる模擬店の他、総勢約100人ももの武者行列が行われ、訪れた人たちは戦国ドラマの舞台となった小谷城下での休日を楽しみました。



10月13日(日)

戦国ドラマの舞台となった地で、心地よい汗を

秋の恒例ランニングイベント「あざいお市マラソン」が、浅井文化スポーツ公園を発着点にして開催され、全国から5,736人のランナーが参加しました。

好天に恵まれた秋空の下、参加者は自己記録の更新や完走をめざし、コスモスが咲き誇る草野川沿いを走り抜けました。

京都市から今回初参加の田中真介さんは、「沿道で地元の人たちが応援してくださったのが嬉しく、心温まるいい大会でした」と話しました。



10月6日(日)

食と文化で世界を巡る

地域に暮らす外国人と日本人が交流しながら、異文化への理解を深めようと「ながはま多文化共生フェスタ」が開催されました。

会場では外国の文化を学ぶワークショップや民俗衣装の試着、折り紙・書道体験教室が行われた他、世界の料理が味わえる屋台が軒を連ね、交流の輪が広がりました。

午後には、母国語以外の言語で歌う国際カラオケ大会が開かれ、13人の出場者たちは、伸びやかな歌声を響かせ、会場を沸かせました。

行政 information 市政の動き（9月16日～10月15日）

「クリーン、わかりやすい、開かれた市政」の確立のため、市民の皆さんに市役所内で「どのような会議」が開催され、「どのような結果」になったかを概略でお知らせします。

下記の施設指定管理者選定委員会では、以下の施設の指定管理者候補について、申請のあった団体からの説明と質疑応答により審査を行った結果、次の団体を同候補として適当と判断しました。

会議名など	内容
9月26日（木） 第2回長浜市健康・高齢者福祉施設指定管理者選定委員会 担当課：人事課経営企画室（☎65-6702）	【健康パークあざい】（株）日本水泳振興会 【長浜西部福祉ステーション】（社福）青祥会 【長浜東部福祉ステーション】（社福）長浜市社会福祉協議会 【長浜北部福祉ステーション】（社福）長浜市社会福祉協議会 【浅井福祉ステーション】（社福）長浜市社会福祉協議会
9月27日（金） 第3回長浜市産業振興・基盤施設指定管理者選定委員会 担当課：人事課経営企画室（☎65-6702）	【ウッディパル余呉】（株）ロハス余呉 【河毛駅コミュニティハウス関連施設】（株）まちづくり湖北 また、西浅井地域振興関連施設の指定管理者を募集するため、同施設の募集方法および募集要項等について審議しました。
10月1日（火） 第4回長浜市文化・スポーツ施設指定管理者選定委員会 担当課：人事課経営企画室（☎65-6702）	【余呉茶わん祭の館】丹生茶わん祭保存会 【長浜文化芸術会館】（公財）長浜文化スポーツ振興事業団 また、神照運動公園の指定管理者を募集するため、同施設の募集方法および募集要項等について審議しました。
10月3日（木） 第3回長浜市健康・高齢者福祉施設指定管理者選定委員会 担当課：人事課経営企画室（☎65-6702）	【びわ福祉ステーション】（社福）長浜市社会福祉協議会 【西浅井福祉ステーション】（社福）長浜市社会福祉協議会
10月9日（水） 第5回長浜市文化・スポーツ施設指定管理者選定委員会 担当課：人事課経営企画室（☎65-6702）	【長浜市勤労青少年ホーム】（公財）長浜文化スポーツ振興事業団 【浅井文化ホール】（株）ロハス余呉
10月15日（火） 第6回長浜市文化・スポーツ施設指定管理者選定委員会 担当課：人事課経営企画室（☎65-6702）	【長浜市民体育館等】（公財）長浜文化スポーツ振興事業団 【浅井地区スポーツ施設】（公財）長浜文化スポーツ振興事業団 【木之本運動広場運動場・体育館】総合型クラブきのもとeye's

※詳しくは、市ホームページ（<http://www.city.nagahama.shiga.jp>）をご覧ください。

県税や市税の納め忘れはありませんか？

皆さんから納めていただく県税や市税は、福祉・教育など身近な行政サービスに使われる大切な財源です。

県と県内全市町では、12月を「滞納整理強化月間」として、税の公平な負担の観点から、一斉に滞納整理を行います。

未納のまま放置すると、給与・預貯金等の差押えや自宅の搜索をすることがありますので、もう一度、納め忘れがないかお確かめください。

問合せ先

県税…東北部県税事務所納税課
（☎65-6606）

市税…滞納整理課
（☎65-6517）

行政 information 「わたしのまちの鉄道・駅」絵画展を実施します

問 都市計画課交通対策室（☎65-6562）

鉄道を活かした湖北地域振興協議会では、今年も湖北地域の小学生の皆さんから鉄道・駅に関する絵画を募集し、281点の応募作品の中から優秀作の展示を左記のとおり行います。小学生の皆さんの力作をぜひご覧いただくとともに、公共交通の利用にご協力ください。

① 鉄道スクエアでの展示

【内容】 特賞・入賞作を含む優秀作約70点を展示

【期間】 10月19日（土）～12月8日（日）
9時30分～17時（入館は16時30分まで）

【場所】 長浜鉄道スクエア（北船町）
※優秀作を展示します。
※入館料（大人300円、小・中学生150円）が必要です。

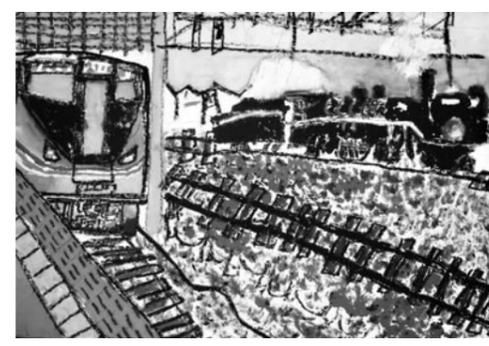
② 長浜駅での展示

【内容】 特賞・入賞作22点を展示

【期間】 平成26年1月11日（土）～2月9日（日）



▲長浜市長賞
（長浜北小学校 松宮京香さん）



▲会長賞
（米原小学校 西居良敏さん）

行政 information 県道小室大路線 通行止めのお知らせ

問 長浜土木事務所道路計画課（☎65-6641）

迂回にご理解とご協力をお願いします

道路改良工事に伴い、県道小室大路線の一部区間が終日通行止めになります。

大変ご迷惑をおかけしますが、迂回をお願いします。

【区間】 木尾町地先～八島町地先
延長約850m

【期間】 11月5日～平成26年8月31日（予定）



行政 information 都市計画案を縦覧します

問 都市計画課（☎65-6562）

市が定める都市計画について、次のとおり案を縦覧（再縦覧）します。この案に意見のある人は、下記の要領で意見書を提出してください。

【対象となる案】

都市計画道路（長浜駅自由通路）

【公告日】 11月7日（木）

【縦覧期間】 11月7日（木）～11月20日（水）

【縦覧場所】（平日）都市計画課（東別館2階）
（休日）市役所案内（本館1階）

【意見提出方法】

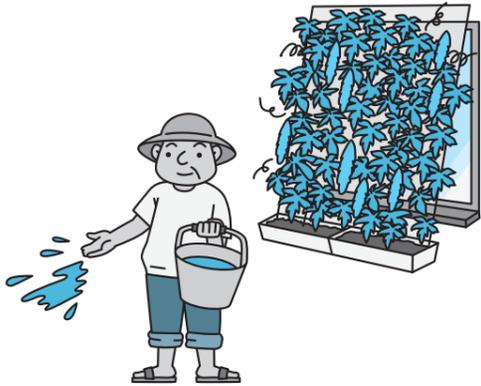
縦覧場所に備え付けの様式に①住所②氏名③電話番号を記入のうえ、11月20日（水）までに左記まで、※市ホームページでも案および意見書様式を、公告日より掲載します。

提出先

都市計画課（東別館2階）
〒526-0031 八幡東町632番地
☎65-6760

「ながはまグリーンカーテンコンテスト」 入賞者が決まりました

問 環境保全課 (☎65-6513)



日の当たる窓をアサガオやゴーヤなどのつる性植物で覆う「グリーンカーテン」。家庭でできる温暖化対策として「グリーンカーテン」づくりに取り組み始めた家庭や事業所を募集したところ、家庭部門20点、事業所部門15点の応募がありました。設置の効果・景観・規模・工夫などを審査し、家庭部門・事業所部門のそれぞれで入賞者を決定しました。

応募者の多くから、グリーンカーテンの設置により「エアコンの使用回数が減った」「涼しく夏を過ごせた」などの感想が寄せられました。

入賞された皆さんの作品は、市のホームページで紹介しています。

受賞者の皆さん

家庭部門

- 【最優秀賞】 平井 三夫さん (高月町雨森)
 【優 秀 賞】 筑田 雪枝さん (余呉町中之郷)
 清水 明子さん (下山田)
 【佳 作】 大村 治さん (中野町)
 田中 幸美さん (布勢町)
 小川 芳治さん (七条町)

事業所部門

- 【最優秀賞】 羽淵商店 (元浜町)
 【優 秀 賞】 己高庵 (木之本町古橋)
 宇根自治会 (高月町宇根)
 【佳 作】 六荘地区地域づくり協議会 (勝町)
 長浜北星高等学校 (地福寺町)
 とらひめ認定こども園 (五村)

【最優秀賞】 平井 三夫さんの感想

今年は、ゴーヤのグリーンカーテンに取り組んで3年目。今までは西側の一部にグリーンカーテンを設置していましたが、今年は、西側全面に広げてみました。西日が強い西側の部屋はグリーンカーテンのおかげで、エアコンを一度も使用しませんでした。また、毎年暑くなるトイレも涼しく、かなり効果がありました。来年は、今年収穫したゴーヤの種を使用し、グリーンカーテンに取り組む予定です。



【最優秀賞】 羽淵商店 羽淵 久晃さんの感想

当店は、博物館通りの東側に面しており、真夏は強烈な西日が入ってくるため、約10年前からグリーンカーテンに取り組んでいます。今年は、南隣の「観光情報茶屋四居家」さんの店頭もお借りして、2軒並びで約15mのグリーンカーテンを設置しました。

視覚的な清涼感は抜群で、大勢の観光客が「素敵なグリーンカーテン!」「こんな立派なゴーヤのカーテンつくりたいね!」等、驚嘆の声を上げながら、グリーンカーテンの前で思い思いに記念撮影をされていました。また、来年もチャレンジしたいと思っています。



環境保全 家庭で簡単にできる取組み その8 (全12回)

問 環境保全課 (☎65-6513)

「ゴミの減量から節約につながる様々なアイデアや、質問の多いゴミの分別方法などを、12回にわたり毎月紹介しています。」

食材が捨てられている

まだ食べられるのに廃棄される食品「食品ロス」は、事業系・家庭系合わせて、年間約500〜800万トンもあると言われていています。(平成22年度推計)

これを日本人1人当たりで換算すると、毎日おにぎり1〜2個分を捨てていることとなります。

大切な食べ物を無駄なく消費し、食品ロスを減らして環境面や家計面にとってもプラスになるよう、一人ひとりが『もったいない』を意識して、日々の生活を見直すことが重要です。

「食品ロス」を減らすために

☆賞味期限を正しく理解する

食品の期限表示は、「賞味期限」と「消費期限」の2種類があります。「賞味期限」は、「おいしく食べることできる期限」であり、これを過ぎた次の日から食べられなくなるわけではありません。

におい等の五感を使って、食べられるかどうかを判断することも必要です。

☆買ひ物は必要に応じて

必要な食品を、必要な時に、必要な量だけ購入しましょう。買い物に出かける前には、冷蔵庫の中をチェックすると二重買いを防げます。

☆作りすぎない/余ったらリメイク

料理は必要な分だけ作りましょう。もし、食べきれなかった場合は、他の料理に作りかえるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。

今月のゴミの持込み日は11月24日(日)です

湖北広域行政事務センターでは、毎月1回日曜日(原則第4日曜日)に、家庭から排出されるゴミの持込みをクリスタルプラザ、クリーンプラントおよび伊香クリーンプラザで受付けています。

◆受付時間(各施設とも)

8時30分〜12時、13時〜16時30分

問合せ先

- 湖北広域行政事務センター業務課 (☎62-7143)
- 環境保全課 (☎65-6513)

エコドライブ講習会を開催します

問 環境保全課 (☎65-6513)

自動車から排出されるCO₂の抑制に効果的な「エコドライブ」。講習会では、通常運転とエコドライブでの燃費の差が体験できます。ぜひご参加ください。

【ところ】 12月3日(火) 9時〜12時

【ところ】 長浜自動車学校(加田町)

【内容】 環境にやさしい運転方法についての講習と実技。反応適性検査や電気自動車への試乗もあります。

【定員】 27人(先着順)

※参加費無料、自動車運転免許証をお持ちください。

【申込み】 住所・氏名・電話番号・年齢を電話またはFAX(65-6571)で右記まで。

太陽光発電に補助金を活用ください

問 環境保全課 (☎65-6513)

家庭に太陽光発電システムを設置する人を支援します。国・県・市と補助金が充実している今がチャンスです。

【補助金額】 3万円(太陽電池モジュール1kWあたり)上限10万円

※国(J-PEC)の補助金申込受理決定通知を受けていること、市への実績報告を今年度中に行うことなどが要件です。

☆県の補助金もありますので、活用ください。



今年度中に諸手続きを終えると38円/kWhで10年間、余剰電力を売電できます。

再生可能エネルギー等の設備を導入する事業者への支援もあります。詳しくは商工振興課(☎65-8766)まで

お元気ですか



市立長浜病院 歯科口腔外科 菅 雄祐 先生

骨粗鬆症って 歯に関係あるの？

骨粗鬆症という病気を 知っていますか？

近年話題に上る機会も 多くなってきたと思いま すが、日本の高齢化が進 むにつれ、骨粗鬆症の患 者さんも増えています。

骨粗鬆症とは、骨の細 胞を新しく作る働きが弱 くなり、骨がもろくなっ てしまう病気で、その結 果、少しの衝撃でも骨折 しやすくなります。特に 高齢者にとっては、寝た かりの原因となっていま う事もあり、油断できな い病気です。

現在、骨粗鬆症の治療 に使われる薬の中には、

口の中に副作用 の出やすいもの があり、そうした 薬には、「服用後、 30分程度は横に なってはいけな い」という注意書 きがあります。

この種類の薬 を飲んでいても、普通の 虫歯の治療や歯槽膿漏の 治療に関しては問題あり ませんが、歯を抜く・イン プラントを埋め込むなど 出血をとまなう治療をす ると、その傷口が非常に 治りにくくなることがあ ります。

一度そういつた状態に なると治療を行ってもな かなか治りません。現在 も様々な研究が行われて いますが、未だに確実に 治す方法は確立されてい ません。

ただし、これは予防す ることが可能です。骨粗 鬆症の薬を飲んでいると きに、歯科医院を受診す る場合は、必ず担当医へ 相談してください。

問 市立長浜病院 (☎68-2300(代表))

このコーナーでは、市立長浜病院のスタッフの紹介を兼ねて、「普段の生活での予防法」など生活に役立つ「健康豆知識」を紹介します。

行政 information

肺炎球菌ワクチン予防接種費用の一部を助成します

滋賀県後期高齢者医療広域連合会 ☎077-522-3013

肺炎は高齢者にとって重篤になりやすい病気です。肺炎の約半数が肺炎球菌によるものと言われており、その予防に有効とされるワクチン接種費用の一部を助成します。

【対象】後期高齢者医療の被保険者で、医師が接種を認める人

【助成金額】3000円

【受け方】県内の医療機関に直接予約

【持ち物】後期高齢者医療被保険者証

※接種費用は医療機関により異なります。接種費用から助成金額を差し引いた額をお支払いください。



【注意事項】

※予防接種を実施していない医療機関もありますので、事前にご確認ください。

※この予防接種は、「任意接種」です。接種を希望する人は、かかりつけの医師とよく相談し、予防効果や副反応などについて説明を受け、十分理解した上で受けてください。

※肺炎球菌ワクチンは、接種後5年間有効とされており毎年受けるものではありません。

※助成金額が予算額を超過する場合には、年度の途中で終了する場合があります。

行政 information

店舗のバリアフリーを支援します

問 しょうがい福祉課 ☎65-6518

高齢者やしょうがいのある人が、より積極的に社会参加できるよう、店舗等のバリアフリー改修工事費の一部を補助します。(平成26年度まで)

【対象施設】

市内の小売店、飲食店、診療所、理美容店等で常時雇用されている従業員が20人未満の店舗

【対象工事】

工事費用が3万円以上で、屋内外の段差解消、スロープや手すりの設置、間口の拡張、滑り止めの設置、洋式便器への取り換えなど

【補助金の額】対象となる工事の半額(上限30万円)

段差解消工事の例



※まず、設計前に相談ください。工事着工後の申請はできません。

※実施要項や様式は市ホームページからダウンロードすることができます。

市長コラム 41

至誠通天

藤井 勇治



※至誠通天 誠を尽くせば天が 味方してくれること

鉄砲の縁と きもの大園遊会

鉄砲は、今から470年前にポルトガルから日本・種子島へ伝わり、その翌年には、長浜・国友町で製造が始まったと伝わります。その「鉄砲」が縁で種子島の西之表市と長浜市が友好都市を提携し、市職員の人事交流をはじめ、市民間でのスポーツ交流や天体観望会などの歴史・文化交流など、さまざまな形で友好の輪が広がり、ゆるぎない友好の絆が築かれてきました。特に種子島火縄銃保存会の皆さんと



▲ポルトガル大使(左)、西之表市長(右)と きたい握手を交わす。

は、30年前(昭和58年)、長浜城歴史博物館のオープンに合わせて始まった「長浜出世まつり」で火縄銃の演武をご披露いただいたのが、交流のきっかけとなりました。以降、特に国友鉄砲研究会の皆さんとの交流を深められ、火縄銃大会では、とりわけ勇壮な演武と轟音で、毎年、大会を盛り上げていただいています。

この鉄砲隊の交流が今年30年の節目を迎えることから、スペシャルゲストとして、駐日ポルトガル大使ジョゼ・デ・フレイタス・フェライスさんを「長浜火縄銃大会」にお招きしました。ポルトガル大使と西之表市長・長野力さん、そして長浜市長が「鉄砲」の縁で力強く握手ができた事は大変光栄であり、これまで交流を育んでこられた皆さんに感謝申し上げます。これからも益々友好を深めていきたいと思っております。

また、さわやかな秋晴の日に、29回目「長浜きもの大園遊会」が開かれ、全国からたくさんの方にあでやかな着物姿で集いいただき、歴史・文化芸術の薫り高い街・長浜を、華やかに盛り上げていただきました。

着物は姿勢を正し、慎ましくやかで丈夫な美しい日本人の姿です。世界に誇れる日本の文化です。私も久しぶりに着物姿になり園遊会を楽しみました。



▲着物姿で出席した「きもの大園遊会」

行政 information

永原駅前ハイツ『ヨキコティ』の入居者を募集します

問 申 西浅井支所地域振興課 ☎89-1122

長浜市特定優良賃貸住宅「永原駅前ハイツ『ヨキコティ』」の入居者を募集します。

【申込要件】 次のすべての条件を満たす人

- ① 市内に住所または勤務場所を有し、市税および国民健康保険料の滞納がないこと
- ② 自ら居住するために住宅を必要としていること
- ③ 申込者および同居予定者が、暴力団員でないこと
- ④ 現に同居し、または同居しようとする親族があること
- ⑤ 申込世帯の収入月額(合計)が15万8千円以上48万7千円以下であること

【募集期間】 12月2日(月)～13日(金)※平日のみ 8時30分～17時15分

【申込場所】 西浅井支所地域振興課

【選考方法】 申込要件をすべて満たす人の中から公開抽選により入居者を決定

【入居時期】 平成26年1月中旬を予定

【その他】

- ① 原則として代理人を通じての申込みは不可。
- ② 入居時に連帯保証人1人、敷金(家賃3か月分)が必要で、連帯保証人は県内に住所または勤務場所を有し、申込者と同程度以上の収入がある人です。
- ③ 詳しくは募集案内書をご覧ください。西浅井支所地域振興課、北部振興局地域振興課、建築住宅課(東別館2階)で11月25日(月)から配布。(配布日以降、市ホームページでも掲載)

募集住宅	募集数	建設年度	構造	間取り	住戸面積	家賃(月額)
永原駅前ハイツ「ヨキコティ」(西浅井町大浦)	1部屋(2階)	H18年度	鉄筋コンクリート造2階建	3LDK	64.47㎡	49,000円

人権尊重啓発作品 入選作品展を開催します

市内の小・中学生が、友達や家族への思い、そしていのちの大切さなどについて考え、作成した人権に関する詩・標語・ポスターの入選作品を巡回展示します。
ぜひ、子どもたちのあたたかい思いにふれてください。

問 人権施策推進課 (☎65-6560)

- ★11月21日(木)～28日(木) 浅井文化ホール ホワイエ
- ★11月30日(土)～12月8日(日) 西友 長浜楽市店 赤い屋根の広場
- ★12月10日(火)～17日(火) 高月図書館 2階

▼タテのカギ
1 「ヤッホー!」
2 河川や道路脇にころがっている。
3 〇〇〇マンボウ航海記の作者は北〇〇〇。
4 やるときややる、休むときや休む。
5 自転車やバイクで遠方へ出かけること。
6 秘宝を巡って海賊たちが戦う人気アニメ。
7 子ども歌舞伎や富田人形も同じジャンルです。
8 病气やけがの時に使います。
9 ひょうたんから〇〇〇
10 古いお寺のこと。〇〇巡礼

1	ア	2	3	4	イ
		5	6		
7	8		ウ		9
10		エ	11	オ	
			12		カ
13	キ			14	ク
15			16	ケ	

応募・問合せ先

〒526-0031 八幡東町253番地4 大津地方法務局長浜支局内
長浜人権擁護委員協議会「人権クロスワードパズル係」あて (☎62-0565)

人権クロスワードパズルに挑戦!

12月4日～10日は「人権週間」です。クロスワードパズルに挑戦しながら、今一度人権について考えてみませんか。ア～ケを並びかえ、□にあてはまる言葉を作ってください。正解者の中から抽選で記念品(図書券)をお贈りします。

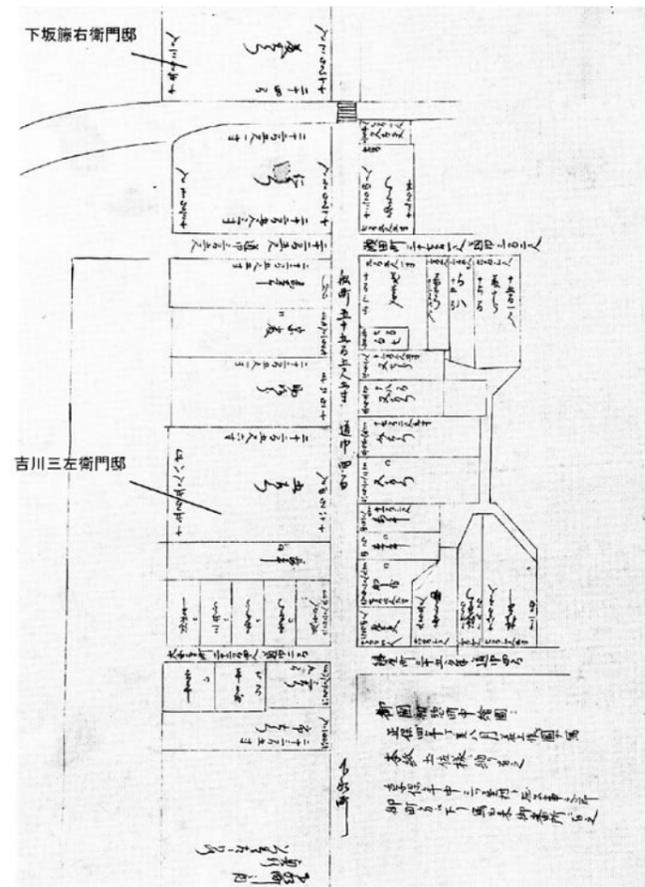
【応募締切】 12月10日(火) ※必着

ハガキに答えと、住所・氏名・年齢および人権についてのひと言を書き添えて、下記までお送りください。

【こたえ】 育てよう □□□□□□□□□□

▶ヨコのカギ

- 冬の風物詩、石〇〇〇〇
- 忘れないよう、手帳に記録
- ♪こぶた、たぬき、きつね、ねこ・・・
- 守山～堅田間に架かっています。
- ガス〇〇〇、電気〇〇〇
- バス〇〇〇、近くにあると便利です。
- 桃〇〇3年、柿8年
- 美しいハーモニー聞かせます。
- 米原市には東洋一といわれる養殖場があります。
- 向こう三軒両隣



▲天保4年 長浜町絵図写(上船町附近)
町年寄吉川家旧蔵 『長浜町絵図の世界』より引用

これらの調査では、天正地震によって被害を受けたと思われる長浜町遺跡は、羽柴秀吉が整備した長浜城下町に始まる遺跡です。長浜町は四十九町、十組からなり、秀吉の命によって城下町を整備した町人衆のうち、組を代表する町年寄の十家は十人衆と呼ばれ、町政の担い手となりました。今回の指定にかかる遺物は、長浜十人衆に数えられていた下村藤右衛門と吉川三左衛門の邸宅跡調査の際に出土したものです。

今回の指定にかかる遺物は、この焼土層などから出土した大量の土器・陶磁器類の一部です。これらは土蔵などに納められていたらしく、完全な形に復元できたもの

問 文化財保護センター
(☎64-0395)



▲出土した土器・陶磁器類の一部

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、445件ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

※平成25年4月1日現在

長浜市指定文化財 考古遺物 長浜町遺跡出土品 (元浜町)

平成25年3月29日指定

長浜町遺跡は、JR長浜駅の東側一帯に所在し、羽柴秀吉が整備した長浜城下町に始まる遺跡です。長浜町は四十九町、十組からなり、秀吉の命によって城下町を整備した町人衆のうち、組を代表する町年寄の十家は十人衆と呼ばれ、町政の担い手となりました。今回の指定にかかる遺物は、長浜十人衆に数えられていた下村藤右衛門と吉川三左衛門の邸宅跡調査の際に出土したものです。

これらの調査では、天正地震によって被害を受けたと思われる



が多くあります。半分以上は、当時貴重であった中国や朝鮮からの輸入陶磁器であり、長浜十人衆の活動や経済力の一端を物語るものです。

女性の人権ホットライン ☎0570-070-810

強化週間 11月18日(月)～24日(日)
平日: 8時30分～19時 / 土日: 10時～17時

夫・パートナーからの暴力やストーカー行為、職場等におけるセクシュアル・ハラスメントなど、女性をめぐる様々な人権問題について、人権擁護委員・法務局職員がお話をうかがいます。ひとりで悩まず、気軽にお電話ください。 ※通常は平日(8時30分～17時15分)のみ

問 大津地方法務局人権擁護課 (☎077-522-4673)

11月12日～25日は、 「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではありません。

この運動期間をきっかけに、女性に対する暴力について考え、暴力のない社会づくりをすすめてみましょう。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

♡12月の婚活イベント♡

●湖北地区結婚相談員連絡会主催●

クリスマス☆で愛づくり婚活パーティー♡

～自己紹介&ゲームで心も体もほっこりと
ランチ(軽食)とトークでじっくりと～

【と き】12月22日(日)10時開会

【ところ】近江母の郷文化センター(米原市宇賀野)

【内容】自己紹介タイム&ゲームとランチ(軽食)や
トークなど、本命チェックでカップリング発表

【対象】50歳以下の未婚の男女
(男性は湖北地域在住、女性は地域を問いません)

【定員】男女各18人(定員を超えた場合は抽選)

【参加費】男性4,000円 女性3,000円

【申込み】所定の申込用紙で下記まで(電話、Eメール可)

※申込用紙は、下記窓口にあります。また市のホームページからダウンロードすることもできます。

【申込期間】11月11日(月)～12月6日(金)
平日8時30分～17時

※抽選結果は、後日郵送します。参加確定後はキャンセルされても参加費をいただきます。

【問 申】事務局 湖北地域農業センター
(湖北農業会館内)(公園町)
(☎62-4143 ☎62-4144
✉kohoku-nougyou@tree.odn.ne.jp)

●長浜商工会議所青年部主催●

婚活!クリスマスパーティ

【と き】12月8日(日)15時～19時

【ところ】浜湖月(公園町)

【内容】自己紹介を兼ねたアトラクション、フリータイム、告白タイムなど

【対象】市内在住・在勤または定住予定の人で、20～40歳代の未婚の男女

【定員】男女各40人(先着順)

【参加費】男性4,500円 女性4,000円

【申込み】長浜商工会議所青年部ホームページ
(http://nagahama-yeg.net/)から

【問】長浜商工会議所青年部(☎62-2500)

●湖北町商工会青年部主催●

カップリンググループinピアノカ

【と き】12月14日(土)13時～18時頃

【集合場所】長浜駅西口

【内容】大型豪華客船「ピアノカ」でのクルーズパーティ

【対象】25～45歳の未婚の男女

【定員】男女各50人程度(先着順)

【参加費】男性9,000円 女性4,000円

【申込み】11月15日(金)までに電話またはEメールで下記まで

【問 申】湖北町商工会事務局
(☎78-2121 ✉kohoku-s@mx.biwa.ne.jp)

結婚相談

【長浜地域】11月28日(木)18時～20時
長浜市民交流センター(地福寺町)

【浅井地域】11月22日(金)18時～20時
湯田公民館(内保町)

【びわ地域】11月22日(金)19時30分～21時
びわ公民館(難波町)

【虎姫地域】11月22日(金)18時～20時
虎姫時遊館(三川町)

【湖北地域】11月15日(金)18時～20時
湖北福祉ステーション・高齢者福祉センター(湖北町速水)

【高月地域】11月13日(水)13時～15時
高月公民館(高月町渡岸寺)

【木之本地域】11月21日(木)15時～17時
公立木之本公民館(北部振興局内)

【余呉地域】11月23日(土・祝)10時～12時
山村開発センター(余呉町中之郷)

【西浅井地域】11月20日(水)13時～15時
西浅井公民館(西浅井支所内)

【問】社会福祉課
(☎65-6536)
市ホームページ
「結婚相談」で検索
またはQRコード



※いずれの会場も
提供できる情報は同じです。

長浜米原休日急患診療所 11・12月の診療日のお知らせ

【診療日】11月3日、4日、10日、
17日、23日、24日
12月1日、8日、15日、
22日、23日、29日、
30日、31日

【診療時間】9時～18時

【受付時間】8時30分～11時30分
12時30分～17時30分

【場所】湖北医療サポートセンター
「メディサポ」内
(宮司町1181-2)

【電話番号】65-1525

※受診時は保険証・お薬手帳をお忘れなく。
※電話番号はお間違えのないようご注意ください。

【問】健康推進課(☎65-7779)

不用品交換情報(10月15日現在)

◆ください(無料)

○都市ガス用コンロ○裁断機○子ども
乗せ用自転車カゴ○木製椅子のセット
○ソファ○白扇○子ども用袴○おも
ちゃの刀○飼育用水槽○手押し式耕運
機○二段ベッド○ノートパソコン○こ
たつ○こたつ布団○ダイニングテー
ブル(椅子付き)○プロパン用ガスレ

ジ○オルガン○ビデオデッキ○耐火用
金庫○冷蔵庫○座椅子○写真の暗室用
品○カラーBOX○子ども用室内ジャン
グルジム○介護用リクライニング式
ベッド○ベッド用補助卓テーブル○
ハンドミキサー○ブレンダー○ミル
サー

◆ゆずってください(有料)

○エレクトーン(USB対応)○手押
し式耕運機○ギター○テレマークス
キーセット○介護用リクライニング式
ベッド○ベッド用補助卓テーブル○
ハンドミキサー○ブレンダー○ミル
サー

◆あげます(無料)

○ベビーベッド○ワープロ○体重計○
学習机○エレクトーン○木製和服たん
す○布団たんす○一面化粧台○乗馬
フィットネス機器

◆ゆずります(有料)

○都市ガス用ガスコンロ○足踏みミシ
ン○座椅子(黒色、合皮)○六畳用じゅ
うたん○子ども用二段ベッド○三人掛
けソファ○遠赤外線インフラヒーター
○マッサージ機○ランドセル(黒)○
デスク付き本棚○大正琴

※現物は保管していません。
※市は取次ぎのみで、利用者双方
の話し合いで決定していただきます。

【問】環境保全課(☎65-6513)

現金よりデビットカード



長浜市国際交流員
ソランジェ

皆さん、こんにちは!皆さんは、買い物をするときにどん
な風に支払いをしますか?

10年前まで、ブラジルの特に都会での支払い方法は日本
と同じく現金とクレジットカードでした。それ以外に、日本
では一般の人があまり使わない小切手で支払うことも多く
ありました。

しかし、現金を持ち歩くのを不安に感じる人や、小切手で
支払う時に身分証明書の提示や金額の記入等が面倒と思う
人が多く、デビットカード(口座引き落とし)を使う人が年々

増えています。

クレジットカードを使うのも良いですが、高額な物を買
い、分割払いを重ねて支払えなくなる危険があります。ク
レジットカードの管理ができず、たくさんの借金を抱える
ブラジル人が多くいます。

一方、デビットカードにはそういう心配はありません。
自分の口座から支払い金額を引き落とすシステムなので、
残高がなければ買い物ができず、ある意味では安心なシス
テムになっています。ただ、現金を持ち歩くのと違って、口
座にどのくらい残高があるのかを常に知る必要があります。
これで、お金の管理を意識することもできますので、とても便
利だと思います。



☆ワンポイントポルトガル語講座☆
バガール
Pagar → 支払う

【問】市民協働推進課(☎65-8711)

行政 information

学生就職面接会 湖北就活ナビを開催します

【問】商工振興課(☎65-8766)

「湖北就活ナビ」は若者の地元への定着の促進
と、湖北地域の企業の発展、優秀な人材確保を目
的とする合同就職面接会です。就職活動に役立
つセミナーも開催します。

【と き】11月8日(金)

・セミナー 11時～11時45分
・就職面接会 13時～16時30分

【ところ】長浜バイオ大学(田村町)
【対象】平成26年3月に大学(院)、短期大学、高等
専門学校等を卒業予定の学生および卒業
後3年以内の既卒者

【参加事業所】湖北地域(長浜・米原市内)の56社
※申込不要・履歴書不要・入退場自由

行政 information

ボウリング大会参加者募集

【問 申】長浜市総合型地域スポーツクラブ
連絡協議会(生涯学習文化スポーツ課内)
(☎65-8787)

初心者・経験者問わず、誰もが楽しめるボウリ
ング大会です。友達や家族と一緒に身体を動か
してみませんか。

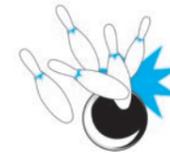
【と き】12月15日(日)9時30分～ ※9時受付

【ところ】長浜スプリングレーンズ(八幡中山町)

【部門】①小学生の部 ②一般の部
(女性・年齢等のハンデあり)

【参加費】①1人500円 ②1人1000円
【定員】80人(先着順)

【申込み】11月15日(金)までに
電話で下記まで
※上位入賞とび賞など豪華賞品を
用意しています



行政 information

「コミュニティ活動の推進に」役!

【問】市民協働推進課(☎65-8722)

七条新町自治会が、宝くじ
助成を受けて自治会館の備品
等を整備されました。



この助成は、(財)自治総合セ
ンターが、宝くじの収益を地域
に還元するために実施してい
るもので、今
後、さらに地
域コミュニティ
活動が推進
され、地域住民の絆が深められること
が期待されます。



行政 information

寄せ植えを楽しんでみませんか

【問 申】長浜市住みよい緑のまちづくりの会
事務局(都市計画課内)(☎65-6541)

長浜市住みよい緑のまちづくりの会では、長浜市森
づくりふれあいフェスタ2013において、左記のと
おり「お花の寄せ植え教室」等を開催します。

【内容】第1部 お花の寄せ植え教室
第2部 プリザーブドフラワー教室

【と き】11月24日(日)
(第1部)10時30分～、(第2部)13時30分～

【ところ】浅井ふれあいの里・プラザふくらの森周辺(内
保町) ※雨天時は浅井支所内(内保町)

【対象】市内に在住・在勤・通学している人

【持ち物】作品持帰り用の袋

【参加費】大人1000円、中学生以下500円
【定員】各教室とも30人(先着順)

【申込み】11月15日(金)までに①氏名②住所③連絡先を電
話で下記まで

お知らせ

◆労働保険に加入しましょう

11月は「労働保険適用促進強化期間」です。労働者(パート及びアルバイトを含む)を1人でも雇用する事業主は、業種や規模の大小にかかわらず、すべて労働保険(労災保険と雇用保険)に加入することとなっています(農林水産の一部の事業は除く)。労働保険の加入手続きがまだの事業主は、すぐに最寄りの労働基準監督署・ハローワーク(公共職業安定所)で手続きをしてください。

☎彦根労働基準監督署 (☎0749-22-0654)
ハローワーク長浜 (☎62-2030)

催し

◆きゃんせ土曜日

【とき】11月9日(土) 11時～13時
【ところ】長浜地方卸売市場(田村町)
【内容】特売セール、福引抽選会、100円・200円・300円均一コーナー、うどん・そば・おにぎり・いなり寿司コーナー

☎長浜地方卸売市場 (☎63-4000)

◆「しょうがい福祉の父」糸賀一雄生誕100年記念事業 ワークショップ「誰もが暮らしやすい福祉しがづくりを目指して」

しょうがいのある人の就労等の現状と課題等について、地域のみんなで考え、共生社会の実現に向けた取り組みの方向性を見出すことをめざします。

【とき】11月9日(土) 13時30分～16時
【ところ】勤労者福祉会館「臨湖」(港町)
※申込不要・参加費無料。どなたでも参加できます。
☎しょうがい福祉課 (☎65-6518)

◆余呉湖まつり

【とき】11月9日(土) 10時～15時 ※雨天決行
【ところ】余呉湖観光館前(余呉町下余呉)
【内容】鏡岡中学校校い体験、地元新鮮野菜や加工食品の販売、余呉米食べ比べ、ステージイベント、地震体験車、ロードトレイン、お買物スタンプラリー、ガラポン抽選会、ゆるキャラ「浅井三姉妹」など

☎余呉湖まつり実行委員会(長浜北商工会余呉支部内) (☎86-3090)

◆第11回おはなしフェスティバル

【とき】11月10日(日) 13時30分～15時
【ところ】びわ文化学習センター リュートプラザ(難波町)
※申込不要・参加費無料。どなたでもお越しください。
☎朗読びわ 藤川 (☎72-2229)

◆皮膚の日・市民フォーラム

【とき】11月10日(日) 14時～15時
【ところ】勤労者福祉会館「臨湖」(港町)
【講演テーマ】「ヒフの病気を上手に治すためにーこれからのスキンケアを考えてみましょうー」
【講師】谷崎 英昭先生(京都大学医学部附属病院 皮膚科 助教)
※入場無料・申込不要
☎よねざわ皮膚科クリニック (☎53-2980(診療時間内のみ))

◆曳山博物館特別展

「世話物の世界ー壺坂観音霊験記よりー」夫婦のこまやかな愛情を描き大ヒットした壺坂観音霊験記。愛知県知立市の山車文楽(国指定重要無形民俗文化財)の沢市・お里の人形を始め、壺坂由来の資料を展示します。
【会期】11月11日(月)～12月15日

(日) ※会期中無休
【時間】9時～17時(入館は16時30分まで)
【ところ】長浜曳山博物館(元浜町)
【入館料】大人600円・小中学生300円 ※長浜・米原両市の小中学生は無料
◆特別展記念講演会
【とき】11月16日(土) 13時30分～
【講師】細田 明宏氏(帝京大学准教授)
【テーマ】「壺坂観音霊験記の世界」※聴講無料・申込不要
☎長浜曳山博物館 (☎65-3300)

◆第22回料理作品展示会

「おもてなし」をテーマに滋賀県調理短期大学の学生らの作品約50点を展示。特製カレー(500円)や調理デモンストレーションもあります。
【とき】11月13日(水) 10時～
【ところ】滋賀県調理短期大学(分木町)
☎滋賀県調理短期大学 (☎62-0795)

◆長農 秋の農産物販売会

【とき】11月16日(土) 9時～12時
【ところ】長浜農業高等学校(名越町)
【販売内容】牛肉、肉加工品、米、各種野菜、ジャム等加工品、ハボタン、堆肥、木工品など
☎滋賀県立長浜農業高等学校 (☎62-0876)

◆長浜地区交通安全のつどい

【とき】11月16日(土) 10時～
【ところ】虎姫文化ホール(宮部町)
【内容】表彰式、記念公演、大谷保育園の園児たちによる鼓隊・合唱
☎長浜地区交通安全協会(長浜警察署内) (☎65-0110)

◆サンサンランドからのお知らせ
●サンサンクラブ パラグライダー飛行機を工作しよう
ビニール袋やストローなどを使って工作します。

【とき】11月16日(土) 13時30分～15時
【対象】市内在住の小中学生
【定員】20人(先着順)
【持ち物】油性カラーペン、上靴
●赤ちゃん広場
バイオリンとピアノによる癒しのコンサートや親子ふれあい遊びなど
【とき】11月19日(火) 10時～11時15分
【対象】市内在住・在勤のH25.3～7月生まれの赤ちゃんと保護者 ※初めて父・母となった人
【定員】30組(先着順)
《共通事項》
【ところ】サンサンランド(地福寺町)
【参加費】子ども1人100円
【申込み】電話または直接下記まで
☎サンサンランド (☎62-3712)

◆歌はともだちコンサート

楽しい歌とミニミュージカルのふれあいコンサートです。
【とき】11月22日(金) 10時～11時
【ところ】湖北文化ホール(湖北町速水)
【入場料】子ども(1～15歳) 200円 16歳以上 300円
※チケットの事前購入は下記まで
☎チケット販売 湖北公民館 (☎78-1287) ※水曜・祝日休館

◆第24回 一日回峰行

【とき】11月23日(土・祝) 8時45分から受付 ※悪天候時は中止
【集合場所】五先賢の館(北野町)
【対象】小学生以上(3年生以下は保護者同伴)
【定員】70人(先着順)
【参加費】500円、小中学生無料
【申込み】11月19日(火)までに氏名・住所・電話番号を電話・FAX・Eメールで下記まで
☎五先賢の館 (☎74-0560 FAX 74-0910) Eメール gosennken@zd.ztv.ne.jp

◆よばれやんせ湖北生産者・消費者交流会

【とき】11月17日(日) 10時30分～14時30分
【ところ】長浜バイオ大学食堂(田村町)
【内容】基調講演(滋賀県知事嘉田由紀子氏)、パネルディスカッション、地産ものの試食会・生産者と消費者との交流会、大抽選会、直売
【定員】100人(先着順)
【参加費】2,500円
【申込み】氏名・住所・携帯電話番号を記入し、FAXまたはEメールで下記まで
☎よばれやんせ湖北実行委員会 (☎075-708-8061) FAX 075-708-8062 Eメール oubo@kino-eco.or.jp

講座・教室

◆日本語教室 生徒募集

アットホームな雰囲気の中で、気軽に日本語を勉強しませんか。サロンなどの楽しいイベントも開催しています。ぜひ、教室に遊びにきてください!
【開講日】毎週水・土曜日(週2回) 19時～20時30分 ※どちらかの曜日だけでも可
【ところ】国際文化交流ハウスGEO(神照町)
☎長浜ユネスコ協会事務局(生涯学習・文化スポーツ課内) (☎65-6552)

◆健康教室

【とき】11月7日(木) 13時30分～
【ところ】湖北医療サポートセンター「メディアサポ」(宮司町1181-2)
【テーマ】「風しん(三日はしか)と先天性風しん症候群」
【講師】(医)橋本医院 橋本登紀子先生
※参加費無料・申込不要

☎湖北医師会 (☎65-3600)

◆シニア対象警備技能講習

【とき】12月2日(月)～10日(火) 土日除く7日間 9時～16時
【ところ】連合会事務所会議室(大津市逢坂)
【定員】20人
【対象】55歳以上の県内在住者で講習に係る就業を希望する人(ハローワークで求職登録が必要です)
【受講料】無料
【申込締切】11月18日(月) 必着
【面接日程】11月20日(水) 10時～
プエルタ大津(JR大津駅徒歩1分)にて
※詳しくは問合せください。
☎滋賀県シルバー人材センター連合会 (☎077-525-4128)

募集

◆自衛官募集

【募集科目】高等工科学校生徒
【応募資格】15歳以上17歳未満の男性で中学校卒業者(H26.4.1現在)
【受付期間】平成26年1月10日(金)まで ※応募方法等詳しくは問合せください。
☎自衛隊滋賀地方協力本部彦根地域事務所 (☎0749-26-0587)

相談

女性の悩み相談(要予約)

【とき】11月5日(火) 10時～14時 11月16日(土) 12時～16時 12月3日(火) 10時～14時
【ところ】市民交流センター相談室
【相談員】下地久美子さん(臨床心理士)
【料金】無料
※託児あり(要予約)、秘密厳守
☎平日：人権施策推進課 (☎65-6556専用ダイヤル) 土日：市民交流センター (☎65-3366)

11月の税・料

市県民税 3期
国民健康保険料 6期
介護保険料 6期
後期高齢者医療保険料 5期

有料広告欄

創業55年 信頼と実績の LifeRelief
株式会社ライフリリース
■TEL:0749(62)1356 ■フリーダイヤル0800-888-1356
■長浜市神照町743 ■※旧の長浜清掃センターです
ハウスクリーニング(台所・トイレ・浴室など)・一般雑務
水回りのトラブル全般(詰りなど)・仮設トイレレンタル
☆お見積り無料! ☆気軽にお電話下さい

弁護士に気軽に相談できます 相談料 1時間 5,000円(税込) 多重債務は無料
相談受付ダイヤル 0749-68-1530
弁護士法人 HP http://www.ohmi.lawyers-office.jp
おうみ法律事務所 弁護士 竹内 寛 弁護士 中村明宏 弁護士 小財憲司 (滋賀弁護士会所属)
〒526-0031 長浜市八幡東町225

創業 31 年 まごころこめてお手伝い
滋賀ペット葬儀社
琵琶湖動物霊園 心塔 年中無休
お迎え・個別火葬・納骨供養 日本ペットランド
0120-46-1200

ときめ輝びと

おはなしおばさん、 今日もゆく

宮腰 悦子さん (三ツ矢元町)
すずめの学校 代表



撮影場所: 宮腰さん宅

アートインナガハマで賑わう中心市街地の中でも、ひととき人気を集めるのが「人形劇まつり」。安浄寺の本堂を舞台に繰り広げられる人形劇や紙芝居に、子どもたちはもちろん、大人もすっかり夢中になります。

今年で9回を重ねたこの催しを開くのは、児童文化活動グループ「すずめの学校」。その代表を務めるのが宮腰悦子さんです。宮腰さんは神戸に生まれ、第二次大戦中に信楽に疎開。結婚後は夫の仕事の関係で神戸、東京、神奈川、千葉、ヒューストン、ニューヨークと国内外を転々としたのち、2003年、長浜に居を構えました。

宮腰さんがおはなし会や紙芝居、人形劇などの児童文化活動を始めたのは40年前。千葉県在住時、地域にお年寄りがいない、夫の帰りが遅い…そんな環境での子育てに危機感を覚えての

ことでした。

それ以来、フィールドが変わっても、言語が変わっても持ち前のバイタリティを発揮し、地域の子どもたちにおはなしを届け続け、25年前には人形劇のプロデュースなどを行う(株)エツコ・ワールドも立ち上げました。

パワフルな「おはなしおばさん」としての宮腰さんの原点は、幼いころの身近な大人たちとの関わりにあるそう。「私の母親は小学校の教師として忙しく働いていましたから、子どもの相手ができなかったんです。でも地域のお年寄りが紙芝居なんかをしてくれて。その頃は皆が貧しかったけれど、おはなしを聞くことで空腹が紛らわされるの。おはなしが栄養になり、体にしみ込んでいったのね」

「子どもにとって大切なのは『自分を知っても

らっている』という実感。そのためには大人がたっぷり声をかけ、目をかけ、手をかける必要があるんです。親はもちろんですが、地域のおじさん、おばさんがその役割を引き受ける、そんな町がいいですね」

「地域全体での子育て」の一端を担う「すずめの学校」の活動の柱は、「つなげる・つたえる・つづける」の3つの「つ」。人と人、世代と世代をつなぎ、地域の歴史や文化を伝える活動を続けていくこと。最近はおもう一つ、「つくる」を加え、童話などの創作活動にも取り組んでいるそうです。

「やることすべてが楽しくて、どんどん元気になっちゃう」そう話す宮腰さんの顔はとってもチャーミングでまぶしいくらいに輝いていました。

Smile Smile

※このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報室(☎65-6504)まで申込みください。



一歳お誕生日おめでとう。よく食べ、よく寝て、よく笑い、時々やんちゃな湧介が家族みんな大好きです。

小川 湧介ちゃん (平成24年10月生まれ) (七条町)



藤村 颯大ちゃん (平成24年9月生まれ) (八幡東町)

いつも元気な颯ちゃん♡よく食べ、よく遊んで、よく寝て大きくなってね！小さなお兄ちゃん。弟とも仲良くしてね♡

まの人口	平成25年10月1日現在	人口 123,071人	男 60,214人	女 62,857人	世帯数 44,407世帯
	平成25年9月中の異動	転入 204人	転出 225人	出生 111人	死亡 106人 婚姻 49件



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと環境に配慮した再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の方は市民広報室まで。

平成25年11月1日発行/編集・発行 長浜市市民広報室
〒526-8501 滋賀県長浜市高田町12-34 TEL:077-49-62-4111 FAX:077-49-63-4111
http://www.city.nagahama.shiga.jp e-mail:kouhou@city.nagahama.lg.jp